

大高緑地の自然・九月（長月）

ながつき

お盆過ぎ（処暑）から、朝夕涼しさを感ぜられるようになり夏も終わりに近づいてきました。

また、この夏は曇や雨が多く、特に八月十日は台風十一号が東海地方に最も接近しました。その後晴れ間がほとんどの状態でプールの利用客も昨年より減少しました。

今後、秋晴れを期待したいものです。

*「処暑」＝暑さが止むという意味で、朝夕次第に冷気が加わってくる時季です。

■今月は、二十四節季の白露（九月八日）・秋分【彼岸の中日】（九月二十三日）があります。

◆その他、防災の日（九月一日）、救急医療週間（九月七日）、十五夜（九月八日）、岸和田だんじり祭り（九月十三日）、敬老の日（九月十五日）、動物愛護週間（九月二十日）、秋の全国交通安全運動（九月二十一日）、

●シラタマホシクサ（花木園）



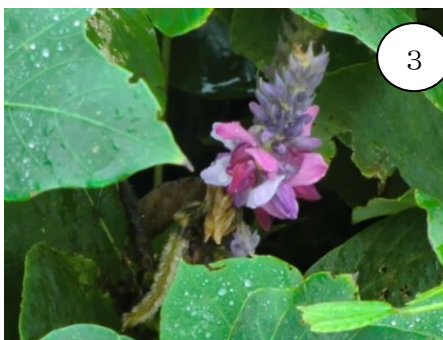
●猩々トシボ（花木園）



●大高緑地で見られる、秋の七草の五種類を紹介します。

ご承知かと思いますが秋の七草は、ハギ、ススキ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマですが、フジバカマと同族種のサワヒヨドリを紹介します。

- ①ハギ 可愛らしい赤紫の花が咲き、至る所で確認できます。
- ②ススキ 草刈りをしていない日当たりのよい場所で確認できます。
- ③クズ 花は赤紫色でマメ科の蔓性植物です。至る所で確認できます。
- ④キキョウ 現在1株しか確認できません。貴重な植物となりました。
- ⑤サワヒヨドリ 湿地に少量数確認できます。



ツリガネニンジンの花（青色）